

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の方法	1
3.	回収率	1
II	調査結果	2
i	障がいのある人の調査結果	2
1.	属性・障がいについて	2
(1)	調査票回答者(問 1)	2
(2)	対象者本人の属性(問 2)	3
(3)	手帳の種類(問 3)	5
(4)	自立支援医療受給者証・特定医療費受給者証の有無(問 4)	8
(5)	高次脳機能障がいの診断(問 5)	8
(6)	発達障がいの診断状況(問 6)	9
(7)	医療的ケアの有無(問 7)	14
(8)	介護保険の要介護度(問 8)	16
2.	ご家族や支援者について	18
(1)	同居者(問 9)	18
(2)	普段の生活での介助又は支援(問 10)	21
3.	日常生活について	32
(1)	日中の過ごし方(問 11)	32
(2)	住まいの種類(問 12)	37
(3)	日常生活の悩み(問 13)	38
(4)	困ったときの相談先(問 14)	46
(5)	福祉サービスに関する情報源(問 15)	50
(6)	ヘルプマークの認知(問 16)	54
(7)	ヘルプカードの認知(問 17)	58
4.	障害福祉サービス等の利用について	62
(1)	受給者証の有無(問 18)	62
(2)	福祉サービスの利用状況(問 18)	65
(3)	福祉サービスの利用実態(問 19)	67
5.	地域での生活について	74
(1)	同居者の支援がなくなった場合や独居の将来の不安(問 20)	74
(2)	将来の居住場所についての希望(問 21)	86

(3) 将来、一緒に暮らしたい人、居住場所を選んだ理由(問 22)	94
(4) 地域で生活するために必要なこと(問 23)	98
(5) 近隣・地域の人との関わり方について(問 24)	100
(6) 「地域における共生」を進める上での重要事項(問 25)	102
(7) 「地域における共生」の進捗状況(問 26)	104
6. 災害対策について	107
(1) 「静岡県避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況(問 27)	107
(2) 避難訓練の参加状況(問 28)	110
(3) 避難所の認知状況(問 29)	112
(4) 災害時に困ること(問 30)	113
(5) 災害時の備えとして取り組むべきこと(問 31)	115
7. 療育・教育について	117
(1) 通っている学校・学級・施設(問 32)	117
(2) 療育・教育で困っていること(問 33)	119
8. 雇用・就労について	124
(1) 就労の有無(問 34)	124
(2) 週あたりの就労日数(問 35)	126
(3) 1日あたりの就労時間(問 36)	127
(4) 1か月あたりの平均給与額(問 37)	128
(5) 就労場所(問 38)	129
(6) 就労先の合致度(問 39)	137
(7) 今後の就労意向(問 40)	138
(8) 働くために必要な環境整備(問 41)	142
9. かかりつけ歯科医について	146
(1) かかりつけ歯科への受診(問 42)	146
10. 権利擁護について	147
(1) 「障害者差別解消法」の認知状況(問 43)	147
(2) 差別を受けた経験(問 44)	149
(3) 成年後見制度の認知状況(問 45)	155
(4) 日常生活自立支援事業の認知状況(問 46)	156
11. 障がい福祉に関する施策について	157
(1) 障がい福祉事業への要望(問 47)	157
12. 静岡市立図書館の福祉サービスについて	164
(1) 静岡市立図書館の福祉サービスの利用有無(問 48)	164
(2) 静岡市立図書館の福祉サービスを利用しなかった理由(問 49)	169
(3) 今後、静岡市立図書館に求める福祉サービス(問 50)	172
13. スポーツの実施・観戦について	177
(1) スポーツへの興味(問 51)	177

(2) スポーツをする頻度(問 52) -----	178
ii 障がいのない人の調査結果 -----	180
1. 属性・暮らしについて -----	180
(1) 回答者本人の属性(問 1) -----	180
(2) 障がいのある人との関わり有無(問 2) -----	181
(3) 障がいのある人の介助経験(問 3) -----	188
(4) ヘルプマークの認知(問 4) -----	190
(5) ヘルプカードの認知(問 5) -----	194
2. 地域での生活について -----	197
(1) 「地域における共生」を進めるうえで重要だと思うこと(問 6) -----	197
(2) 「地域における共生」の進捗状況(問 7) -----	199
(3) 障がいのある人のためにできること(問 8) -----	201
3. 災害対策について -----	204
(1) 障がいのある人が災害時に困ると想定されるもの(問 9) -----	204
(2) 障がいのある人のために災害時にできる支援(問 10) -----	206
4. 障がいのある人の雇用・就労について -----	209
(1) 障がいのある人が働くために必要な環境整備(問 11) -----	209
5. ボランティア活動への参加について -----	212
(1) 障がい福祉関係のボランティア活動への関心(問 12) -----	212
(2) ボランティア活動への参加経験(問 13) -----	215
(3) 今後参加してみたいボランティア活動(問 14) -----	216
6. 障がいのある人への理解について -----	217
(1) 福祉への関心(問 15) -----	217
(2) 福祉サービスの情報を知るきっかけ(問 16) -----	220
(3) 「障害者差別解消法」の認知状況(問 17) -----	222
(4) 障がいのある人への差別・偏見について(問 18) -----	224
(5) 「成年後見制度」の認知状況(問 19) -----	226
(6) 「日常生活自立支援事業」の認知状況(問 20) -----	227
iii 障がいのある人と障がいのない人の比較 -----	228
1. 属性・暮らし・日常生活について -----	228
(1) 本人の属性 -----	228
(2) ヘルプマークの認知 -----	229
(3) ヘルプマーク利用者への支援 -----	229

(4) ヘルプカードの認知	230
(5) ヘルプカード利用者への支援	230
2. 地域での生活について	231
(1) 「地域における共生」について	231
(2) 「地域における共生」の進捗状況	232
(3) 福祉サービスに関する情報源	233
3. 災害対策について	234
(1) 避難行動要支援者のために災害時の備えとして取り組むべきこと	234
4. 障がいのある人の雇用・就労について	235
(1) 障がいのある人が働くために必要な環境整備	235
5. 障がいのある人への理解について	236
(1) 「障害者差別解消法」の認知状況	236
(2) 障がいのある人への差別・偏見について	237
(3) 「成年後見制度」の認知状況	238
(4) 「日常生活自立支援事業」の認知状況	238

付録 調査票